

平成20年度 福井県立大学大学院  
経済・経営学研究科博士前期課程  
入学者選抜試験問題(第2次)

専門科目

経済政策・経済史・経営各論・会計分野

以下の問1～問4の中から1問を選んで解答しなさい。

問1 (経済政策) 今日、地方から都市への人口流出に歯止めをかけ、地域間格差解消に対処することが求められている。人口流出や地域間格差の要因は何か。また政策として何が必要と考えるか。

問2 (経済史) 産業革命について説明せよ。

問3 (経営各論) 以下の(1)、(2)、(3)のうちいずれか1題を選び、解答せよ。

- (1) 今日の企業をとりまく実践的な経営課題にはどのようなものがあると考えるか。主要な課題をいくつかあげ、あわせて基本的な対処方向についても述べよ。なお、実践的な経営課題は、すべて環境状況の変化や技術の変化、市場と顧客の変化、さらにはそこからする企業間関係の変化等から生まれてくる。こうしたことも参考にして記述すること。
- (2) 今新しく事業を始めるとする。その場合、考慮すべきこと、検討すべきことにはどのようなことがあると思うか、説明せよ。
- (3) 企業経営において人と組織のあり方はきわめて重要なことである。では、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方についてはどのようなことが要請されているか。またこれを受けて、企業側ではどのような方策がとられているか。自らの知るところや考えを述べよ。

問4 (会計学) 企業の買収・合併に際してのれんが生じることがある。こののれんに関する会計処理について論じなさい。